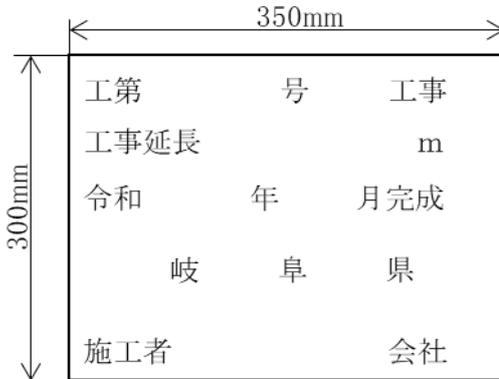


第11号様式

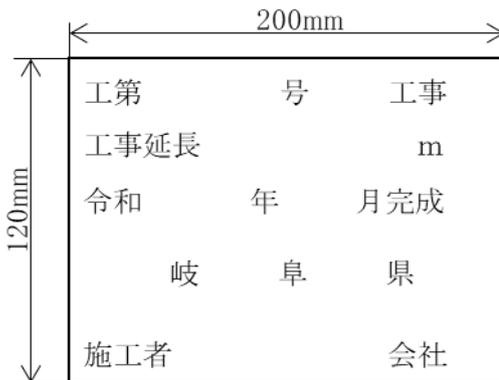
工事完成の標示

1. 改良、災害（道路、河川、砂防）



- 〔注〕 1. 災害工事は、最上段に災害年度を記入する。  
 2. 版厚及び材料は、監督員の指示するものとする。  
 3. 本規格を使用できない場合は、9cm角の木材を使用するものとし、上記記載事項を記入する。  
 4. 設置位置は、起点を原則とする。

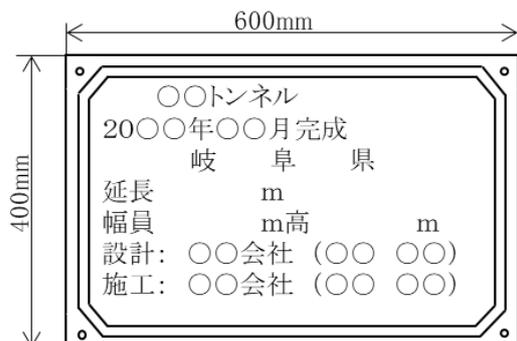
2. 舗装



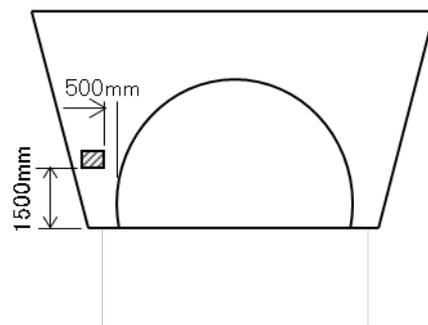
- 〔注〕 1. 版厚及び材料は、監督員の指示するものとする。  
 2. 設置位置は、起点を原則とし、目地及び舗装版の端より50cmのところとする。

3. トンネル・コンクリートシェッド・鋼製シェッド

(標示板)

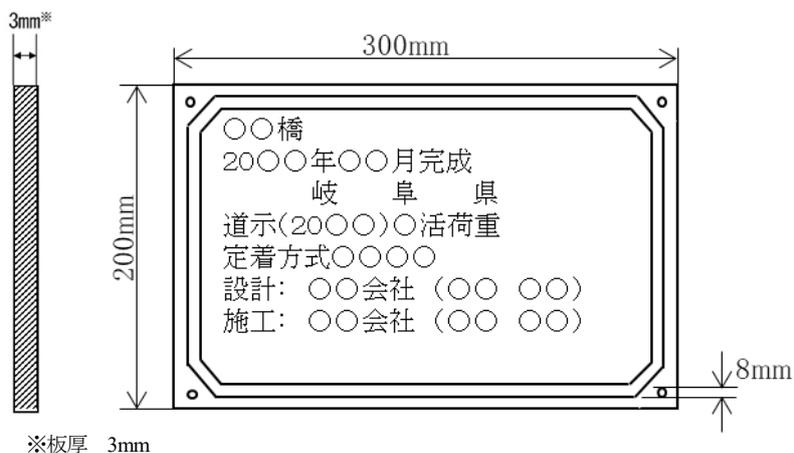


(取付け図)



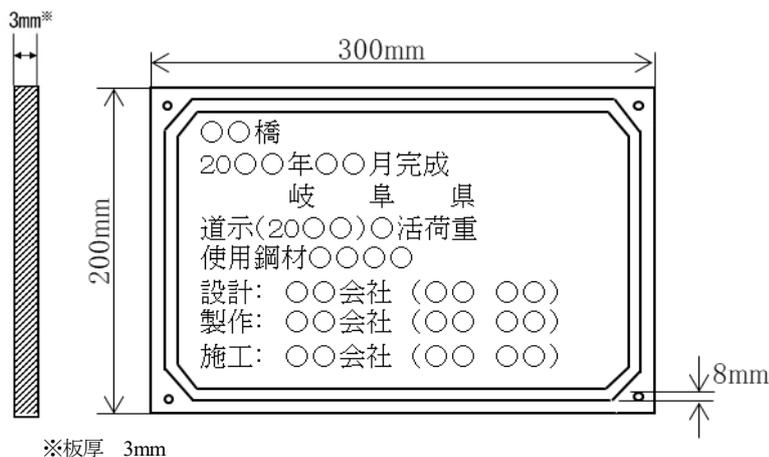
- [注] 1. 幅員、高さは建築限界とする。  
 2. 材質は、JIS H 2202（鋳物用銅合金地金）とし、板厚 8mm、字厚 5mm、計 13mm とする。  
 3. 設計には管理技術者名を、施工には主任または監理技術者名を、それぞれ記載する。

#### 4. P・C橋



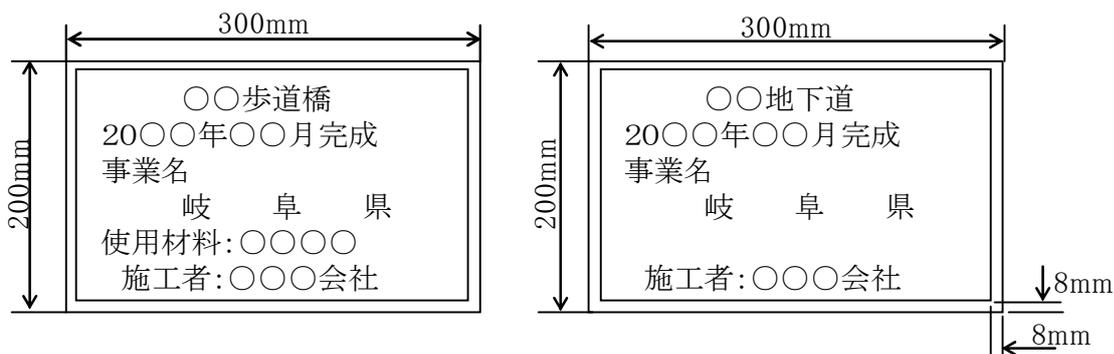
- [注] 1. 取付位置は、起点左側橋端部を原則とする。  
 2. 材質は表面に透明の高耐候性フィルムにより被覆したアルミニウム板（JIS H 4000 A 5052 P）を標準とする。  
 3. 設計には管理技術者名を、施工には主任または監理技術者名を、それぞれ記載する。

#### 5. 鋼橋



- [注] 1. 取付位置は、起点左側橋端部を原則とする。但し、特別な場合は監督員の指示による。  
 2. 材質は表面に透明の高耐候性フィルムにより被覆したアルミニウム板（JIS H 4000 A 5052 P）を標準とする。  
 3. 設計には管理技術者名を、製作・施工には主任または監理技術者名を、それぞれ記載する。

#### 6. 立体横断施設及び地下道



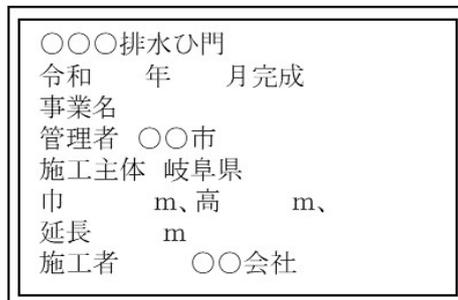
- [注] 1. 立体歩道 取付位置は、左側階段部下方を原則とする。  
 2. 地下道 取付位置は、左側入口左側壁を原則とする。  
 3. 材質は、鋳鉄（JIS G 5501）とし、板厚 8mm、字厚 5mm、計 13mm とする。

7. 水門、ひ門等

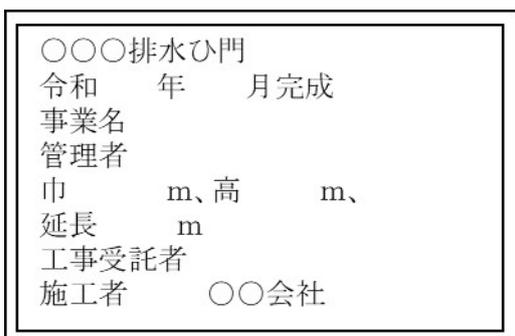
a) 本工事施工の場合



b) 附帯工事施工の場合

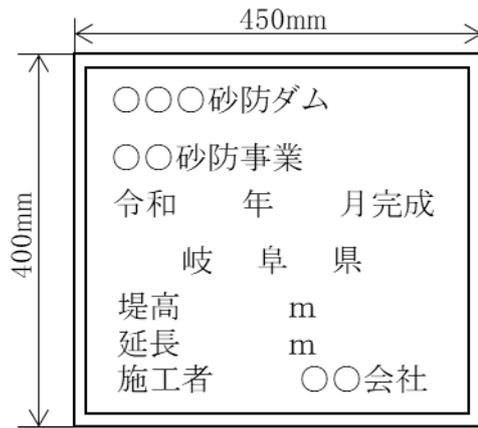


c) 受託工事施工の場合



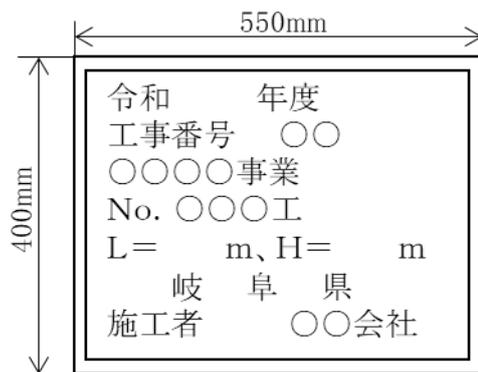
- [注] 1. 取付位置は、監督員の指示によるものとする。  
 2. 材質は、鋳鉄（JIS G 5501）とし、板厚 8mm、字厚 5mm、計 13mm とする。

8. 砂防えん堤及び床固工



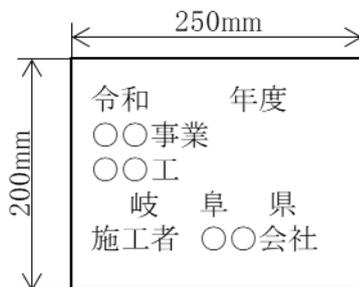
- [注] 1. 設置位置は、道路側袖天端で水通し肩より 2.0m の位置とする。  
 ただし、完成後の**確認**が困難な場合は監督員の**指示**を受けること。
2. 材質は、御影石（板厚 145mm、字厚 5mm、計 150mm）又は鋳鉄（板厚 8mm、字厚 5mm、計 13mm）とする。

9. 治山ダム及びダム型土留工



- [注] 1. 設置位置は、道路側袖部を原則とする。
2. 材質は、銅又は合金とし、板厚 12mm とする。

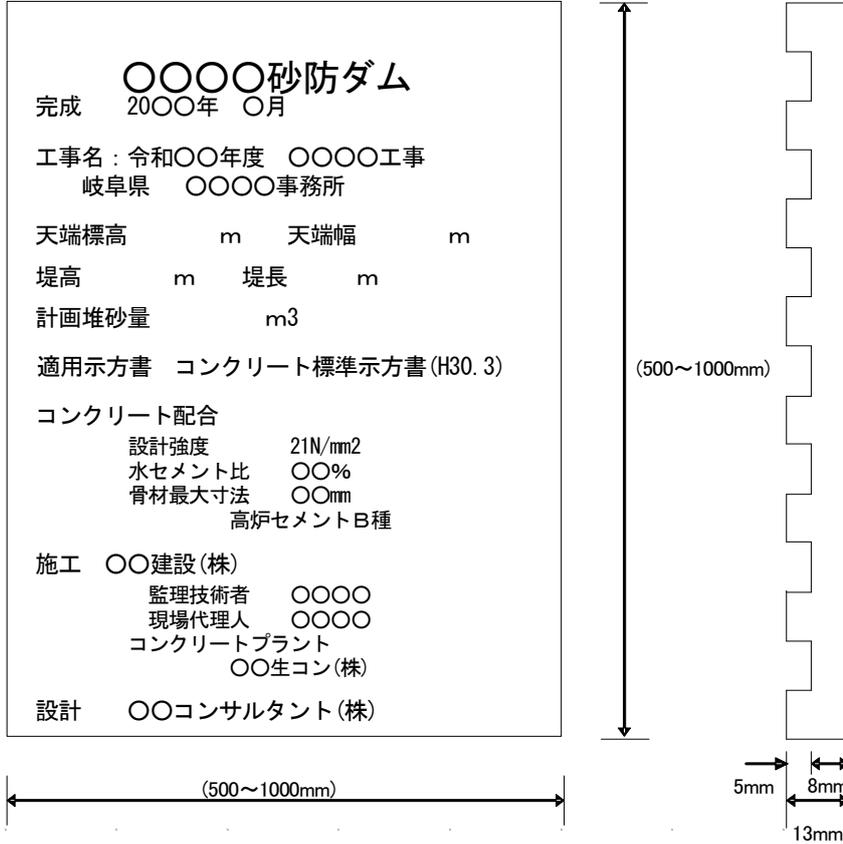
10. 治山積石（ブロック積）土留工等



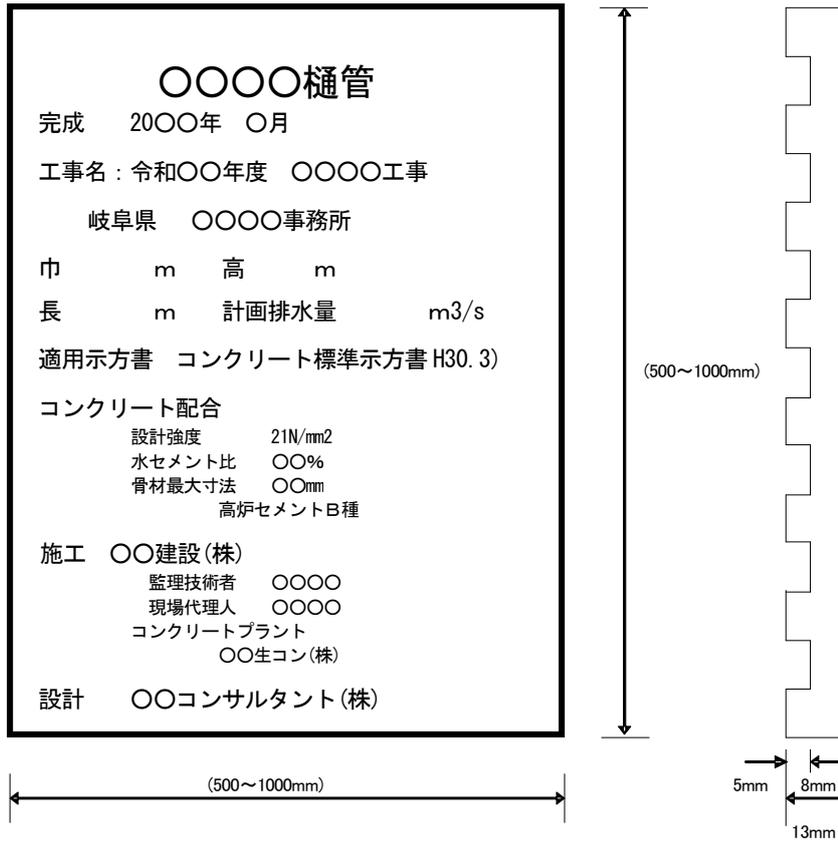
- [注] 1. 設置位置は、天端を原則とする。
2. 材質は、銅又は合金とし、板厚 10mm とする。

コンクリート構造物（現場打ち）の銘板

<参考> 銘板記入例（砂防工）



<参考> 銘板記入例 (樋管工)



<参考> 銘板記入例 (橋梁下部工)

